

都立国際高校 年間授業計画 / Tokyo Metropolitan Kokusai High School Course Syllabus

科目基礎情報 / Course information

開講年度 / Academic year	令和4年度 / 2022年度
開講学科 / Department	国際学科国際バカロレアコース / IBDP(International Baccalaureate Diploma Programme)
教科 / Subject	地理歴史科
科目 / Course Title	History HL
学年・クラス / Year・Class	2学年・IBコース
単位数 / credits	6

科目概要情報 / Course description

講座概要 / Course description	国際バカロレアディプロマプログラムのコースで、近現代史を中心に変化・継続・原因・結果・重要性・視点といった概念を用いながら学習する。4単位ぶんはHistory SLの生徒と同様に、第二次世界大戦へ至る過程のドイツ・イタリア・日本の歴史を資料分析を主な手段として学習し、冷戦期のアメリカ・ソ連の動きとそれに関連した東西の対立と冷戦崩壊の過程を学ぶ。3学期には内部評価のための歴史に関する調査研究を行う。HLを選択した生徒はそれに加えて17世紀から20世紀に至る東アジア史を学習する。徳川幕府と清朝の統治体制、西洋の影響を受けての近代化の過程を学習し、自分なりの視点で問いに対して論理的に議論する力を育成する。
到達目標 / Course objectives	(内容) ・学習を通じて、第二次世界大戦前のドイツ・イタリア・日本でどのように全体主義が広まったのかを理解する。 ・学習を通じて、冷戦が起こった背景と崩壊までの過程を理解する。 ・学習を通じて、清朝・徳川幕府と西洋文明との衝突による影響と徳川幕府崩壊の過程を理解する。 ・学習を通じて、中国・日本の近代化の過程と特徴を理解する。 (技能) ・リファレンス能力: 様々な歴史資料を収集する力を身に付ける。 ・分析能力: 資料の持つ価値・限界を分析する、又は資料により見解の異なる箇所を明らかにする力を身に付ける。 ・プレゼンテーション能力: 口頭及び論述でのプレゼンテーション能力の基礎を身に付け、発展させる。 (概念) ・DP歴史の6概念(見解・原因・結果・変化・継続・重要)を用いた概念的理解を行う。
評価方法と評価基準 / Evaluation method and criteria	①定期考査(期末試験) ②小テスト ③プレゼンテーション ④授業参加度 から評価する。
教科書 / Textbooks	A Modern History of Japan, Oxford China's Last Empire The Great Qing, Belknap Harvard The Cold War: Superpower tensions and rivalries, Hodder Education Move to Global War, Hodder Education
校外学習 / Field trip	なし

授業計画 / Course schedule

		指導項目 / Topic	指導内容 / Contents	評価の方法・基準 / Evaluation method and criteria	予定時数 / Alotted hours
1学期 / 1st semester	4月	導入 世界大戦への道 (HL) 伝統的東アジアへの挑戦	学問的誠実性、評価の方法、課題の提出方法、単元の基礎知識、教科の特性  ヴェルサイユ条約と国際連盟の課題 日本における軍国主義の出現の背景を、当時の国際関係をもとに考察する。 (HL) 清王朝の構造、先行研究の整理	毎時の授業における諸活動及び、課題についてはそれぞれの観点での評価に相当するかを明示した上で、ワークシート・プレゼンテーションなどの成果物を形成的評価として評価する。定期考査を総括的評価物として評価する。	18
	5月	世界大戦への道 (HL) 伝統的東アジアへの挑戦	日本における軍国主義の出現について、関連する史資料批判の能力を養う。 イタリアにおけるファシズム出現の背景を、当時の国際関係をもとに考察する。 ドイツにおけるナチズム出現の背景を、当時の国際関係をもとに考察する。 (HL) 清王朝が直面した内外の諸課題、アヘン戦争		24
	6月	世界大戦への道 (HL) 伝統的東アジアへの挑戦	史資料批判の練習 国際協調の終了 (HL) 幕藩構造、先行研究の整理 ペーパー1、3試験、指定単元の振り返り		26
	7月	世界大戦への道 冷戦①	既習事項の振り返り 冷戦の始まりとその原因		12
2学期 / 2nd semester	9月	冷戦② (HL) 伝統的東アジアへの挑戦	冷戦初期の対立と危機、東ヨーロッパにおける反ソ連運動の鎮圧 (HL) 西欧列強と江戸幕府の動揺、幕末の危機、先行研究批判	毎時の授業における諸活動及び、課題についてはそれぞれの観点での評価に相当するかを明示した上で、ワークシート・プレゼンテーションなどの成果物を形成的評価として評価する。定期考査を総括的評価物として評価する。	18
	10月	冷戦③ (HL) 近代化改革	冷戦の発展: キューバ危機、ベトナム戦争、プラハの春 (HL) 明治維新・明治憲法の成立		28
	11月	冷戦④ (HL) 近代化改革	ロシアの改革運動と冷戦の崩壊 (HL) 日清戦争・日露戦争		28
	12月	期末考査	歴史的現象に対して複数の解釈が成り立つことを理解し、具体的に論述する。		12

		指導項目／Topic	指導内容／Contents	評価の方法・基準／Evaluation method and criteria	予定時数／Alotted hours
3学期 / 3rd semester	1月	内部評価 (HL) 近代化改革	内部評価の調査のための問いの設定  (HL) 近代化改革に伴う社会・文化的変容、日本・中国の近代化の比較	毎時の授業における諸活動及び、課題についてはそれぞれの観点での評価に相当するかを明示した上で、ワークシート・プレゼンテーションなどの成果物を形成的評価として評価する。定期考査を総括的評価物として評価する。	18
	2月	内部評価 (HL) 清王朝の崩壊、中華民国	日本の政治体制の強化と国際社会の動向を考察する。  (HL) 辛亥革命の背景とその影響		26
	3月	学年末考査	歴史的資料には制約があることを認識し、具体的に現代史に關係する諸資料を批判的に分析する。		12

総授業時数／Total hours

234